

# 和歌山縣報

第三十四號

大正元年十二月三日

## ○訓令

○和歌山縣訓令第十一號

郡役所  
市役所  
町村役場

明治四十年七月訓令第三十八號縣會議員選舉施行細則中第十四條ヲ削除シ以下各條順次繰上ク  
大正元年十二月三日  
和歌山縣知事 川村竹治

## ○告示

○和歌山縣告示第百五十八號

東牟婁郡古座町大字中湊百三十九番地

開業產婆

久保つるゑ

右今般轉住ノ旨ヲ以テ訂正願出依リ本日ノ通り和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス

大正元年十二月三日

和歌山縣知事

川村竹治

東牟婁郡勝浦町六百七十六番地

### ○和歌山縣告示第一百五十九號

明治四十三年一月和歌山縣告示第五號畜產講習會規程ニ依リ左記ノ通畜產講習會ヲ開設ス

大正元年十二月三日

和歌山縣知事 川村竹治

開設期日、本年十二月十日ヨリ五日間

開設場所、伊都郡天野村大字下天野延明寺内

講習科目、畜牛科

開設期日、本年十二月十六日ヨリ五日間

開設場所、伊都郡花園村大字新子醫王寺

講習科目、畜牛科

### ○通牒照會

○通牒

### ○勸第八八二七號ノ一

大正元年十二月三日

郡市長殿

内務部長

務

部

長

町村役場御中

東京、京都鶯業講習所ニ於テハ今般講習規程ヲ左記要點ノ通改正シタル旨通知越候付周知方可然  
取計相成度

東京都鶯業講習所講習規程改正ノ要点

### 一、學科目

(東京)養蠶科ニアリテハ測量、野蠶論、桑樹病害論、蠶繭論、殺蛹貯藏法、動植物實驗及製圖實習等ナ增加シ蠶室蠶具論及顯微鏡使用ハ他ノ學科ニ併合ス  
製絲科ニアリテハ製絲用水論、蠶繭論、屑繭整理論、野蠶繭製絲、生絲貿易論、工場設計及養蠶實習等ナ增加ス

(京都)本科(男生)ニアリテハ測量、野蠶論、桑樹病害論、蠶繭論、殺蛹貯藏法、動植物實驗及製圖實習等ナ增加シ蠶室蠶具論及顯微鏡使用ハ他ノ學科ニ併合ス  
木科(女生)ニアリテハ殺蛹貯藏法及屑繭整理法ヲ增加ス  
別科ニアリテハ桑樹栽培實習ヲ增加ス

### 二、學年

從來學年ノ始メハ十月ナリシモ四月ヨリ開始ノコトニ變更ス從テ募集期モ變更シ入學試験ハ三月下旬トナレリ但シ京都ニ於ケル別科ノ學年ハ從來通リ二月ヨリ開始ス

### 三、無試験入學

新ニ無試験入學ノ途ヲ開キ製絲科養蠶科及京都ニ於ケル本科(男生)ニアリテハ中學校優等卒業者ハ校長ノ證明ヲ得テ又本科(女生)ニアリテハ高等女學校優等卒業者ハ校長ノ證明ヲ得テ各無試験入學ヲ許サル但シ試験入學ハ從前ノ通

### 四、改正入學試験科目

(東京)

養蠶科、製絲科

國語漢文、數學、英語、物理學、化學動物學、植物學

女生本科(變更ナシ)

算術、理科、作文、製絲法

女生別科

算術、作文、絲製法

織絲技術(他ノ學科試験ニ合格シタル者ニ就キ本所ニ於テ之レナ換定ス)

(京都)

本科(男生)

國語漢文、數學、英語、物理學、化學、動物學、植物學

本科(女生)

算術、理科、作文

別科(變更ナシ)

算術、理科、作文、養蠶法

五 出願 手續

入學願書ハ從來地方廳ヲ經由シタルモ以後ハ直接講習所ニ提出スヘキコトニ變更セラル但シ願書提出期限ハ左ノ如シ

東京ニ於ケル各科及京都ノ本科(男生)ニアリテハ三月十五日迄、京都ニ於ケル別科ニアリテハ  
十一月十日迄

六 入學試驗地

(東京)男生ハ東京、京都蠶業講習所、熊本仙臺ノ四箇所ニ限定シ女生ハ右ニ依ルノ外願ニヨリ  
地方廳ニテ受験スルコトニ改メラル

(京都)男生及別科ハ從前通ナルモ本科(女生)ニアリテハ男生ト同様ニナル即チ從來ハ郡役所ニ  
於テモ受験スル詳細ハ講習規程ニアリ希望者ハ貳錢切手ヲ添付ノ上講習所ニ請求セバ直ニ交付セラ  
ルヘシ

## ○ 許 令

○大正元年十一月三十日

和歌山縣土木技手ヲ命ス

月俸拾八圓ヲ給ス

第二工區出張所勤務ヲ命ス

本年十二月四日ヨリ十五日間有田郡ニ於ケル染織講習會助手ヲ命ス  
手當金貳拾參圓ヲ給ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾五圓ヲ給ス

警察部衛生課勤務ヲ命ス

願ニ依リ職務ヲ免ス

○大正元年十二月二日

勳八等

山 下 義 之

大林トメキク

藤 原 常 楠

警察書記

栗 本 市 之 助

和歌山縣廣ナ命ス

月俸拾參圓ヲ給ス

知事官房文書係勤務ヲ命ス。

## ○町村吏員ノ異動

○大正元年十二月二日認可

有田郡安諦村助役 坂上常松  
有田郡津木村長 栗田安龍

## ○臺報

○村長懲戒 西牟婁郡西富田村長同近野村長ニ對シ十一月十四日西牟婁郡長ノ行ヒタル懲戒左ノ如

シ

西牟婁郡西富田村長 杉本國藏

其村々立才野尋常小學校々舍ハ去ル明治十一年ノ建築ニ係リ隨テ其規模狹少且ツ設備不完全ナル  
上近時學齡兒童ノ增加ニ伴ヒ校舍増築ノ必要ヲ來タシタルヲ以テ本年四月本縣小學校設備準則ニ  
依リ之レカ増築ノ設計ヲ立テ同時ニ村會ノ議決ヲ經同年九月二十日付ヲ以テ認可申請ヲナシタリ  
然ルニ小學校ノ増築改築等ハ認可ヲ經テ後其工事ニ着手スヘキハ從來屢々通牒ノ次第モ有之處ニ  
シテ苟モ村長タルモノハ平素之ヲ心得居ルヘキモノナルニ之ニ氣付ス其筋ノ認可ヲ待タス直ニ工

吉田熊次郎

事ニ着手シ既ニ竣成ヲ告クルニ至リタルハ職務上甚<sup>タ</sup>粗漏輕卒ノ責ヲ免レサルモノトス因テ町村制第百五十條ニ依リ謹貢ス

西牟婁郡近野村長 山本淺吉

其村々立野中尋常高等小學校ハ近時學齡兒童ノ增加ニ伴ヒ忽チ校舍ノ狹隘<sup>チ</sup>來タシ隨テ改築ノ必要ヲ感シタルナ以テ本縣小學校設備準則ニ準據シ之レカ設計ヲ立テ本年六月認可申請ヲ爲シ且ツ同時ニ該工事ニ着手シタルモノナリ然ルニ小學校ノ改築増築等ニ付テハ其筋ノ認可ヲ經テ後其工事ニ着手スヘキハ從來屢々通牒ノ次第モ之レアル處ニシテ苟モ村長タルモノハ平素之心得置クヘキモノナルニ之ニ氣付カス直ニ工事ニ着手シ既ニ竣成セントスルニ至リタルハ全ク不注意ノ致ス所ニシテ職務上粗漏ノ責ヲ免レサルモノトス因テ町村制第百五十條ニ依リ謹貢ス

○衛 生

○產婆看護婦試験合格者 異ニ本縣ニ於テ施行セシ產婆看護婦試験ニ合格セシ者左ノ通り

合格証書ヲ交付セシ者

白子キクノ	岸野 どめ	三谷テルエ	橋本ときゑ	泰井まさゑ	豊田 かね
井上 房江	富士田 ヒロ	中松 一衛	國重 ひさ	藤原すゑの	中村コセキ
内海こひな	大道 テル	塙本 まさ	小島 しな	辻 りき	上田 セキ
岡本あはる	谷本 ハツ	岸本 いち	阪上 りよ	坊 おゑい	近藤 やす
伊藤 みわ	中島 りさ	庄司 まさ	清水 こめ	藤田 一枝	西本コキエ
豊田 しが					



高知  
徳島  
東京  
埼玉  
島根

三五  
八  
二八五  
東京市  
三  
二

山梨  
静岡  
和歌山  
計

五五  
一三  
二、五〇五  
東牟婁郡大島村

○防 瘟

○虎列拉 十一月二十四日西牟婁郡和深村大字和深當時東牟婁郡大島港碇泊和船明寶丸船長橋本國松(三十七年)カ虎列拉病ニ羅リタル傳染系統其ノ他豫防措置ノ狀況左ノ如シ

一 傳染系統其ノ他 患者ハ本年十一月十一日他船夫二名ト共ニ和船明寶丸ニ乗組ミ材木ヲ積載シテ新宮川口ナ發シ兵庫縣神戸港ニ航行途中十四日日高郡白崎村糸屋ニ入港同日同港船宿業寺岡善八方ヘ往來シ十五日料理店半佐樓ヘ登樓翌十六日同港出帆十八日午後六時半神戸港ニ着船港内運河ニ繫留翌十九日ヨリ二日間同地野村木材販賣會社及柴田安太郎方ヘ往復シ積載貨物ナ揚陸中三回下痢アリ二十日午後二時病チ冒シテ同港出帆歸途ニ就キタルニ同夜七、八回ノ下痢及吐嘔アリ二十一日午後六時大島港ニ着船前後ニ於テ十回ノ吐瀉及二回ノ下痢ナシ同日午後七時同地大江醫師ノ診斷ヲ求メタルニ急性吐瀉患者トシテ大島村役場ニ届出タルモノニシテ二十二日糞便検査ノ結果虎列拉疑似蘭ヲ認メ二十四日眞性虎列拉ト確定ス

一 豫防措置 患者ノ乗船シタル明寶丸ハ醫師ノ診療後船舶及陸地トノ交通ヲ遮断シ患者並乗組員ノ糞便ヲ投棄スルヲ禁シ尿汞水、石炭酸水、ヲ以テ船内ヲ消毒シ醫師診療前乗組員ノ上陸交通シタル家屋ニ對シテハ嚴重消毒ヲ施行シ更ニ大島村住民一般ニ對シテハ海水ノ使用ヲ差止メ

各戸ニ虎列拉豫防ニ關スル心得書ヲ配付セシメタリ

○正誤　十一月二十一日第三〇號本欄岡本輝一就職日付去月二十一日トアルハ本月十四日ノ誤

○觀象

大正元年自十一月廿八日至十一月三十日氣象 (和歌山地方測候所觀測)

種目	十一月廿八日		十一月廿九日		十一月三十日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六三耗四	七六二耗七	七六三耗五	七六五耗六	七六八耗一	七六九耗六
最高氣溫	九度七	八度一	八度七	七度三	七度七	六度〇
最低氣溫	四度九	一二度七	一四度八	九度七	一二度七	一一度〇
最多風向	北東	二度八	三度六	四度〇	三度二	二度三
平均風力	二米四	北西	三米四	北西	二米七	北
天氣	雨后陰曇	晴	半晴	半晴	二米九	晴
降水量	九耗四	〇耗一	三米二	五米六	二米七	北
記事雜象	午前降雨	〇耗一	〇耗一	〇耗一	午前微雨	午後微雨
	午前二時〇一分廿 午前微雨					

晚間霜結 (但シ本  
年和霜ニシテ前年  
ヨリ十七日、平年  
ヨリ二日共ニ早シ)

大正元年十二月一日印行  
毎月三日九日十二日十五日十八日二十一日二十二日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印 刷 所 和歌山市北休賀町六番地  
和歌山市北休賀町六番地宗

活 版 類